

# 城南の風

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部  
篠山市小枕 城南コミュニティーセンター  
TEL: 079-506-0955 FAX: 079-506-0956  
ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

平成30年2月20日(火)

平成29年度桜守育成講座がコミュニティセンター城南会館で開催されました。受講生20名で、午前は講師：篠山市商工観光課長 赤松一也氏、篠山市の観光客の現状と丹波篠山「桜街道」篠山ロマン街道について講演。ささやま桜協会 桜守り 吉良勉氏により「桜のコブ病類について」講義を受け、午後は篠山川左岸の谷山地区にある桜つつみ公園で整枝剪定の実技講習を受けました。この講座は「市木の桜」を管理できる「桜守り」育てることを目的に毎年開催しております。公園全体は整枝剪定されていませんが、桜の咲くころに花見に訪れてみてはいかがでしょうか。

ささやま桜協会会員、丹南地区自治会長会



平成30年2月16日(金)

平成29年度生活発表会が篠山市立城南幼稚園で開催されました。ちゅうりっぷ組、ひまわり組の園児が日頃の練習の成果を、保護者のみなさんを前に披露いたしました。園児よりも保護者の皆さんが緊張気味にわが子を見つめる姿が印象的でした。園児の歌と合奏、劇遊び・オペレッタなど一生懸命にやりぬき、会場も和やかな雰囲気になりました。



平成30年2月12日(月)

栗栖野老人会(第8松寿会)と子ども会共催による三世代交流囲碁ボール大会が2月12日に同公民会で開催されました。同じ集落に住みながら日ごろあまり付き合いのない子供たちとお年寄りが一堂に会してゲームを楽しむことによって、お互いに親しみとコミュニケーションを深めようとの思いから計画されたもので、約30名が参加しました。全員ラジオ体操で身体をほぐした後、各世代を均等に配置した5チームで各チーム3試合ずつゲームをしました。どのチームも経験豊富な老人会メンバーのアドバイスを受けながら子供たちも一生懸命頑張り、熱戦が繰り広げられました。終了後、みんなでお弁当を広げての昼食会で楽しい行事となりました。



平成30年2月9日(金)

宇土の「山の神」は集落のはずれの山の中腹に祀られています。毎年、2月9日の早朝に三々五々お参りし、今年1年の山仕事の安全を祈願します。前日より宮総代が祠とその周辺・参道を掃除し、お神酒・お塩・お米・お菓子等をお供えします。当日、お参りした村人は持参したお餅をお供えし、山仕事の安全を祈願して、前の人がお供えされたお餅などを持って帰る習わしとなっています。お参りする参道は少しきついですが、山の冷気は爽やかで、すがすがしい気分になります。近年、お参りする人も少なく、本当にささやかな神事ですが、いつまでも後世に伝えていきたいものです。

「春雪に 凜とたたずむ 山の神」



平成30年2月7日(水)

百舌鳥(もず)の速贄(はやにえ)を見る。久しぶりです、昨年3月尾根川に植栽した桜の木にありました。散歩がてらに花芽はどうかと観察中に見つけました。獲物はトカゲですが器用に吊るすものでしばし見入りました。あと2か月もすれば桜も咲きません。桜の花芽もじっと春を待っています。

野中地区 西潟



平成30年2月3日(土)

丹南健康福祉センターで丹南人権教育研究大会が開催されました。この大会は、丹南人権教育研究大会実行委員会(丹南地区自治会長会)の主催で毎年実施されています。今年のテーマは「女性の視点を地域づくりに活かそう」と題し、北村久美子さんに講演をしていただきました。北村久美子さんは(生涯学習応援隊 so-so.39 代表)地域が学校の学びを応援します。「一緒に遊ばせよう」「遊びが心を育てます」「安心な居場所をつくれます」など、自治会やPTA、地域団体の人権学習会、男女共同参画研修会などの講師を務めています。女性が地域づくりに関わると・・・、①生活者の視点が多く入る、②弱者に寄り添える(高齢者、子ども、障害者、シングルマザーなど)、③くちコミの情報が入ってくる、④事業が継続する(役員を終えても・・・)等々、隣の席の方と話し合うなど参加者を交え、あっという間の90分でした。最後に「男性脳」「女性脳」の違いなどが、両方が揃うと無敵なのに・・・なぜ、女性が地域づくりに関わる機会が少ないのでしょうか？考えてみましょう・・・いろいろな事例を交え話されました。講演を終えて、これからの地域づくりに活かしたいと思います。

城南地区自治会長会会長 西潟 弘



平成30年1月20日(土)

城南地区まちづくり懇談会が午後コミセン城南会館で開催され、約30名が参加されました。始めに酒井市長より日本六古窯の日本遺産や市名変更など市の取組みなど含め住み良い町づくりについて御挨拶がありました。今回は「高齢者の移動手段について」と題して市政策部創造都市課より国交省で検討されています「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」について話題提供がありました。具体的には公共交通機関の活用、貨客混載等の促進、自家用有償運送の活用、許可・登録要しない輸送の明確化など。現在篠山市における交通手段はJR・路線バス、コミバス、タクシー・福祉タクシー、乗合タクシー(畑地区のみ)、ボランティア移送サービスなどありますが、公共交通の利用状況を考え再編する必要があり、城南地区に関係する変更点は下記の通りです。

1点目：コミバスの運行日が火・木のみ1日2往復⇒月～金1日今田から篠山方面へは3便、篠山から今田方面へは2便に増便。2点目：高齢者タクシー料金助成制度で、運賃の一部助成されます。75歳以上で無免許の方。年間24枚のチケットが発行され、タクシー料金のうち1,000円は個人が一律負担、1,000円を超える部分で1/2を市が助成(上限2,000円)する制度です。高齢者の移動手段確保は地域における高齢者の暮らしを守る重要な施策であることを強く感じました。



平成30年1月14日（日）

第16回篠山市新春駅伝競走大会が、黒豆の館を中心に開催された。夜半に降った雪で野山が薄っすらと白くなり路面も凍っている。今年も中止か連絡を待つが7時を過ぎ決行と黒豆の館を目指す。西紀トンネルを抜けると、役員の方がコースの確保と大会準備をしていた。9時開会式、9時30分現在、気温：-0.2度 風向き：西北西 風速0.6m/Sのなか17チームがスタートを切った。途中まで見届けて城南スポーツクラブハウスへと会場を後にする。結果は1位大山51分10秒、2位今田A51分35秒、3位岡野A51分56秒、城南は7位55分35秒と検討をしました(15回8位)。メンバー紹介、1区羽場直樹さん(野中)、2区磯貝俊佑さん(岩崎)、3区磯貝陽吉さん(岩崎)、4区石倉昌幸さん(北)、5区上田慎吾さん(リバー野中)、6区桑形洋之さん(北)、7区藤本佳祐さん(野中)、補欠堀本清代(北)さん・熊谷和彦さん(野中)、代表熊谷京子さん(野中)、体振城南支部長酒井実良さん。11時半閉会式で無事終了しました。会場を移し昼食を兼ね慰労会をいたしました。役員・選手・サポーターの皆さん寒い中お疲れ様でした。追記：桑形洋之さん大会10回出場表彰されました。

自治会長会



### お詫び

本誌34号3ページの2番目の記事において、集落名とグループ名が抜けておりました。当該記事は、野中集落での「いきいき倶楽部」(地区いきいき塾)の活動を紹介したものです。